

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ M S C I コクサイ・インデックス・ファンド」は、このたび、第22期の決算を行いました。

当ファンドは日本を除く世界各国の株式（D R（預託証書）およびカンツリーファンドを含みます。）を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



## インベスコ M S C I コクサイ・ インデックス・ファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型

### 第22期末(2023年11月20日)

基準価額	47,748円
純資産総額	16,928百万円
第22期	
騰落率	21.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

## 交付運用報告書

第22期

(決算日 2023年11月20日)

作成対象期間 (2022年11月22日～2023年11月20日)

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100  
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

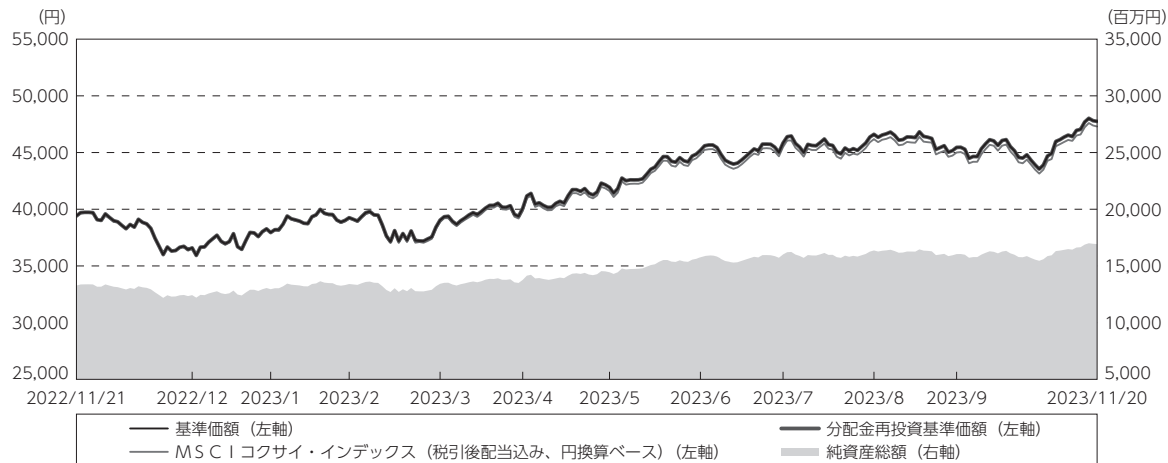
ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

UD  
FONT  
見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2022年11月22日～2023年11月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドのベンチマークは設定日から2023年10月5日までは「MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)」、2023年10月6日以降は「MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)」に変更しています。ベンチマークは指数化し、結合したものを掲載しています。以下、同じです。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、期首(2022年11月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、ベンチマークです。ベンチマークの算出・取得ができない事態が生じた場合、委託会社はベンチマークの変更や廃止を含む運用方針の見直しを行うことまたはファンドを償還することがあります。ベンチマークの詳細は13ページをご参照ください。以下、同じです。

## ○基準価額の主な変動要因

### [上昇要因]

- ・日本を除く世界各国の株式（DR（預託証券）およびカントリーファンドを含みます。以下同じです。）を実質的な主要投資対象としているため、デンマーク、スペイン、イタリアなどの株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の対円での為替ヘッジを行わなかったため、スイスフランやユーロなどが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

### [下落要因]

- ・フィンランド、イスラエル、スイスなどの株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

(2022年11月22日～2023年11月20日)

## 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 320	% 0.768	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(137)	(0.329)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	(137)	(0.329)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 46)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.008	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 3)	(0.007)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 新 株 予 約 権 証 券 )	( 0)	(0.000)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	( 0)	(0.001)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.007	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 3)	(0.007)	※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	15	0.036	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 9)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 3)	(0.007)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 3)	(0.006)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用及び外国有価証券に係る税金・手数料等
合 計	341	0.819	
期中の平均基準価額は、41,737円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

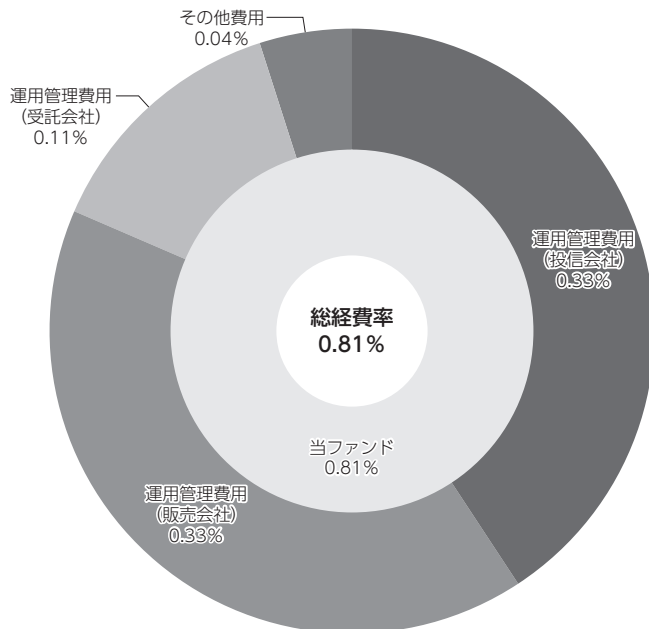
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

**(参考情報)**○**総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.81%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(2018年11月19日～2023年11月20日)

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、2018年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月19日 決算日	2019年11月19日 決算日	2020年11月19日 決算日	2021年11月19日 決算日	2022年11月21日 決算日	2023年11月20日 決算日
基準価額 (円)	22,531	24,807	27,002	38,493	39,408	47,748
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.1	8.8	42.6	2.4	21.2
MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース)騰落率 (%)	—	8.6	6.8	41.3	1.5	20.0
純資産総額 (百万円)	6,703	7,623	8,753	12,340	13,271	16,928

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、ベンチマークです。

(2022年11月22日～2023年11月20日)

## 投資環境

S & P 500 指数 (米国)	+15.1%	F T S E 100 指数 (イギリス)	+1.6%
D A X 指数 (ドイツ)	+10.6%	C A C 40 指数 (フランス)	+9.2%
米ドル／円 149円95銭 (前期末140円36銭)		ユーロ／円 163円54銭 (前期末144円81銭)	

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル／円およびユーロ／円は当期末の数値です。

## ＜米国株式市場＞

米国株式市場は上昇しました。2023年の前半に米国の地方銀行数行が経営破綻したことで、金融システム不安への警戒感が広がり、不安定に推移する局面があったものの、米国金融当局が迅速に流動性を供給し、金融不安への過度な警戒感が緩和したことや、債務上限問題が落ち着いたこと、インフレ圧力の低下が見られたことが好感されて、株価は前期末比で上昇して期末を迎えました。

## ＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は上昇しました。中央銀行による利上げが続いたものの、景況感指数の改善や中国の経済再開により恩恵を受けると見込まれる消費財や自動車セクターが買われたことや、欧州や英国でインフレ率の低下が見られたことなどから、株価は前期末比で上昇して期末を迎えました。

## ＜アジア株式市場＞

アジアの先進国株式市場 (除く日本) は上昇しました。半導体や技術分野に関する米中間の対立への懸念や中国の不動産市場の低迷などが懸念されて下落する局面もあったものの、中国のゼロコロナ政策の終了による景気拡大への期待感の高まりや、インフラ投資拡大の発表などから、株価は前期末を上回る水準で期末を迎えました。

## ＜為替市場＞

期初1米ドル140円台前半だった米ドル／円レートは、米国での利上げが続いたことにより、日米金利差が拡大し、期末には140円台後半となりました。

期初1ユーロ140円台だったユーロ／円レートは、欧州中央銀行 (E C B) の利上げなどにより対円で買われ、期末には160円台となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2022年11月22日～2023年11月20日)

主として、MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主として日本を除く世界各国の株式を投資対象とし、MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指しました。

具体的には、ファンド内のキャッシュポジションを低位に保ちながら、保有する銘柄のコーポレートアクション（買収、増資、スピンオフなど）に対応した結果、ほぼベンチマークに連動したパフォーマンスとなりました。

2022年11月末、2023年2月末、5月末、8月末にベンチマーク採用銘柄の入れ替え（Quarterly Index Review）が行われましたが、ファンドでもこれに対応するための売買を行い、ベンチマークへの連動性を維持する運用を行いました。

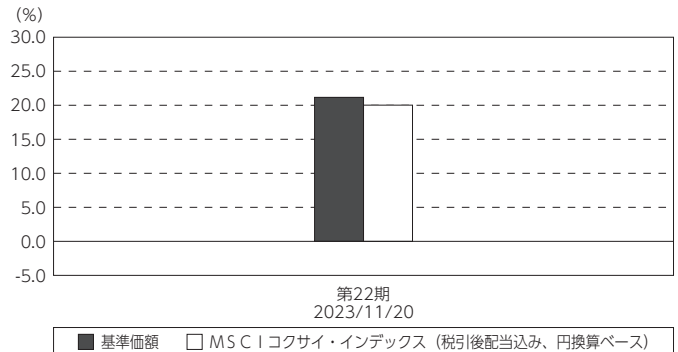
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年11月22日～2023年11月20日)

当期の基準価額騰落率は+21.2%となり、ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）の騰落率+20.0%を上回る結果となりました。

一般的に、インデックス・ファンドのパフォーマンスがベンチマークから乖離する要因としては、配当金（プラス要因）、信託報酬（マイナス要因）、取引や管理にかかるコスト（マイナス要因）による要因の他、個別銘柄の組入比率がファンドとベンチマークで若干乖離していることによる要因や、ファンド内でキャッシュを保有していることによる要因などがありますが、当期においては主に配当金の要因によりプラスの乖離となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）は、ベンチマークです。



(2022年11月22日～2023年11月20日)

**分配金**

収益分配金につきましては、基準価額水準および市場動向などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、投資信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第22期
	2022年11月22日 ～2023年11月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	41,432

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

主として、マザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の株式に投資を行います。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行いません。

マザーファンドでは、主として日本を除く世界各国の株式を投資対象とし、MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目指します。インデックス・ファンドの性格に鑑みて、ポートフォリオの最適化に注力してベンチマークとの乖離を極力低くしていきたいと考えています。

## お知らせ

当ファンドのベンチマークについて、2023年10月6日を変更適用日とし、以下の変更を行いましたのでお知らせします。

## ・変更内容

(変更前) M S C I コクサイ・インデックス (円換算ベース)

(変更後) M S C I コクサイ・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース)

ベンチマークのデータは遡及して変更せず、変更適用日より新たな指数を使用することとします。

## ・変更理由

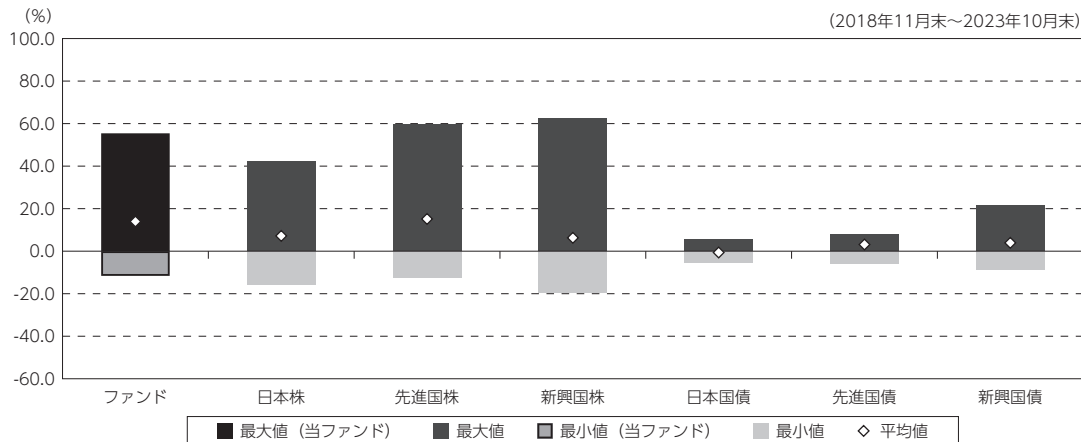
当ファンドの設定当時においては、ベンチマークを「配当なし」とすることが一般的であったことや「配当込み指数」のデータを取得することが困難であったことから対象ファンドのベンチマークは「配当なし」となっておりました。今般、「配当込み指数」をベンチマークとすることが一般的になったこと、またそのデータの取得が容易になったことなどを鑑み、より投資家の方に分かりやすい開示を行うことが主な変更理由です。

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うことを基本とします。</li> <li>・実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
主 要 投 資 対 象	イ ン ベ ス コ M S C I コ ク サ イ ・ イ ン デ ッ ク ス ・ フ ァ ン ド	M S C I コ ク サ イ ・ イ ン デ ッ ク ス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド 受 益 証 券 を 主 要 投 資 対 象 と し ます。
	M S C I コ ク サ イ ・ イ ン デ ッ ク ス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	世界各国の株式（DR（預託証書）およびカントリーファンドを含みます。）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に投資します。</li> <li>・グローバルな収益機会を最大限に追求するため、MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指します。</li> </ul>	
分 配 方 針	原則として年1回の毎決算時（11月19日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に、委託会社が基準価額の水準、市場動向等を勘案し、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	14.0	7.2	15.2	6.3	-0.6	3.1	3.9
最大値	55.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-11.6	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第22期末
MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

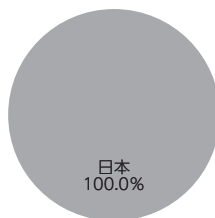
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

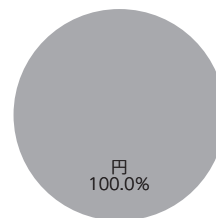
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

## 純資産等

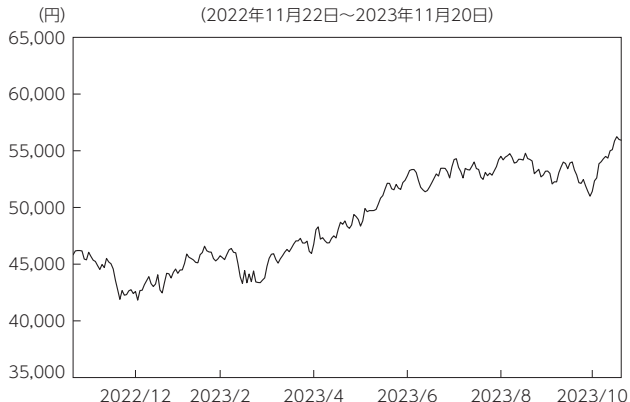
項目	第22期末
	2023年11月20日
純資産総額	16,928,031,206円
受益権総口数	3,545,303,984口
1万口当たり基準価額	47,748円

\* 期中における追加設定元本額は496,530,345円、同解約元本額は319,017,645円です。

組入上位ファンドの概要

MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株証券式) (新株予約権証券) (投資信託証券) (先物・オプション)	3 (3) (0) (0) (0)	0.007 (0.006) (0.000) (0.000) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株証券式) (投資信託証券)	3 (3) (0)	0.006 (0.006) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	10 (10) (0)	0.021 (0.021) (0.000)
合計	16	0.034

期中の平均基準価額は、48,717円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

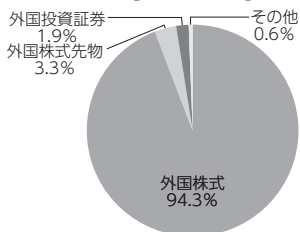
【組入上位10銘柄】

(2023年11月20日現在)

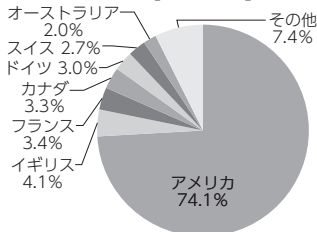
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
1 APPLE	テクノロジー/ハードウェア/機器	米ドル	アメリカ	5.4
2 MICROSOFT	ソフトウェア/サービス	米ドル	アメリカ	4.7
3 S&P500 EMINI	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	2.5
4 AMAZON.COM	消費財/サービス/流通/小売	米ドル	アメリカ	2.4
5 NVIDIA	半導体/半導体製造装置	米ドル	アメリカ	2.2
6 ALPHABET INC-CL A	メディア/娯楽	米ドル	アメリカ	1.5
7 META PLATFORMS-A	メディア/娯楽	米ドル	アメリカ	1.3
8 ALPHABET INC-CL C	メディア/娯楽	米ドル	アメリカ	1.3
9 TESLA	自動車/自動車部品	米ドル	アメリカ	1.2
10 UNITEDHEALTH GROUP	ヘルスケア/機器/サービス	米ドル	アメリカ	0.9
組入銘柄数				1,283銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

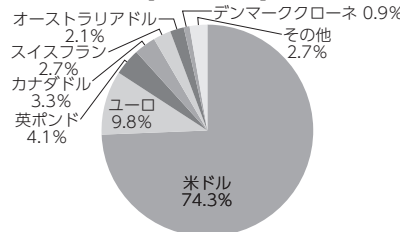
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。  
(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。  
(注) その他には現金等を含む場合があります。  
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## <当ファンドのベンチマークについて>

ベンチマークとして、MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

### ○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社（「JPモルガン」）に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。



